



# 患者さんの動線・視線を踏まえた周知広報で 電子処方箋の認知度・利用率向上へ！

## POINT: 患者さんの動線・視線を考慮した位置に周知広報物を配置

より多くの患者さんの目に留めてもらうためには、自施設の患者動線を意識して周知広報物を配置すると効果的です。

### 【参考】公立岩瀬病院（福島県）

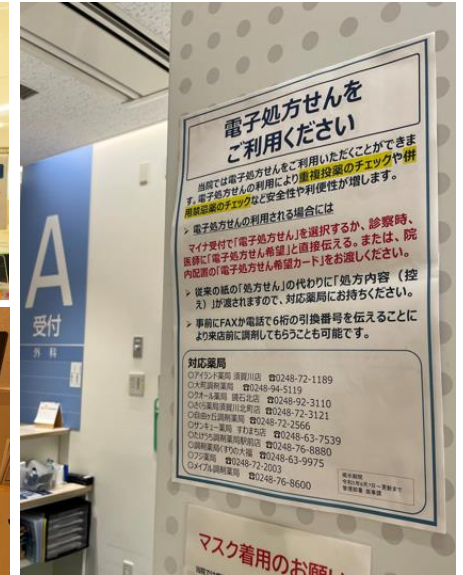
公立岩瀬病院では、案内文書を院内のどこに置くと一番減るのかを調査。結果、公立岩瀬病院では**外来が全て2階にあるため、エレベータ前に置いた案内文書の減りが一番早いことが判明**しました。

この結果を踏まえ、電子処方箋の利用を促す**チラシをエレベータ前に設置**。その他の周知広報物も患者さんの動線・視線を考慮して設置し、認知度・利用率の向上を図っています。

公立岩瀬病院ではこの他にも、多様な媒体を活用した周知広報を行っています。詳しくは導入事例紹介サイトをご参照ください。



[https://cases.iryohokenjiyoho-portal.jp/denshi/hospital/cases/case\\_03.html](https://cases.iryohokenjiyoho-portal.jp/denshi/hospital/cases/case_03.html)



他の周知広報物でも、患者さんの動線・視線を考慮し、電子処方箋の利用を促しています。

- 正面玄関から再来受付機までの途中にポスターを掲示
- 総合案内で電子処方箋の説明動画を再生
- 各科外来の掲示板にポスターを掲示

周知広報物の掲載場所は患者動線を踏まえて検討すると効果的です。

電子処方箋の周知素材は右記ページに掲載していますので、ぜひご活用ください。

電子処方箋に関する  
周知・案内等素材▶



[https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/denshishohousen\\_sozai.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/denshishohousen_sozai.html)